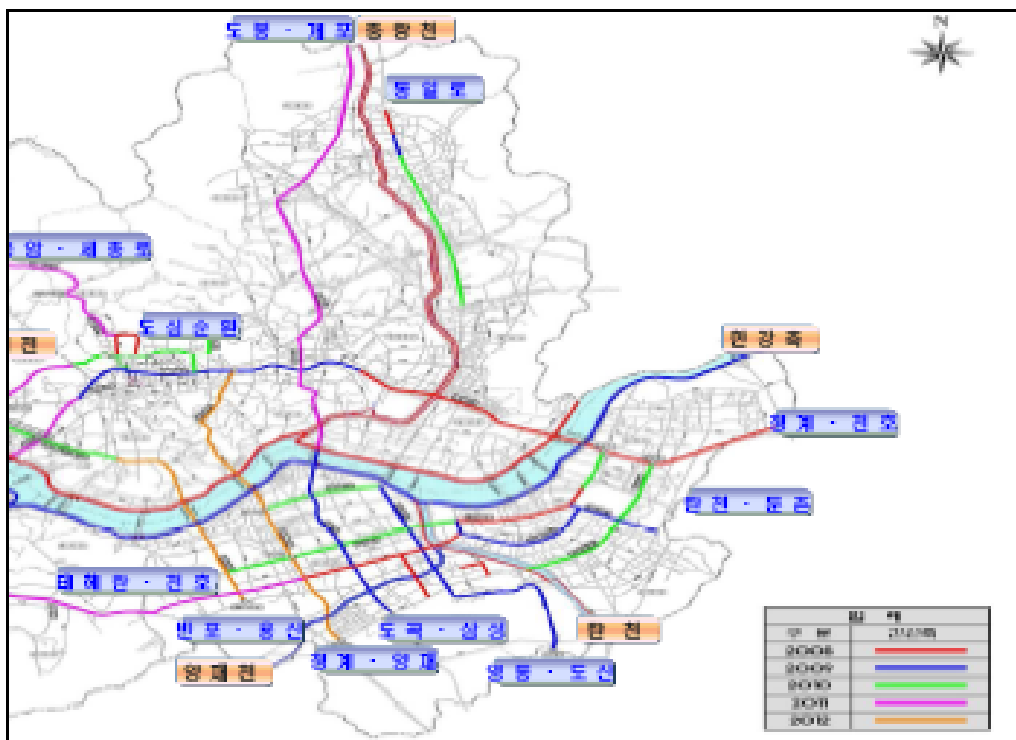


別添 1 自転車の利用を活性化のマスタープランの重要内容

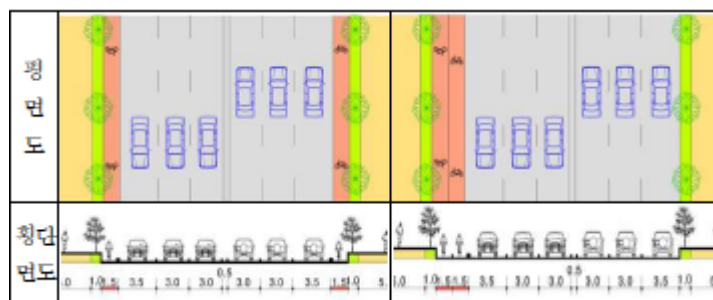
1. 207km 自転車専用道路網の 17 個幹線軸—自転車の出勤・退勤の時代開幕

- ソウル市は 2012 年まで自転車が交通の主役になる時代に変えるために重要幹線道路 17 個軸に 207km の自転車専用道路で幹線軸を構築, 自転車で中長距離を出勤・退勤が不便さをなくす計画
 - 中長距離を出勤・退勤利用が可能な重要幹線道路(細部路線: 別添)
 - 都心に進入する路線 4 個軸: 70km(都心循環路線を含む)
 - 地域間の連結(東西および南北)13 個軸: 137km



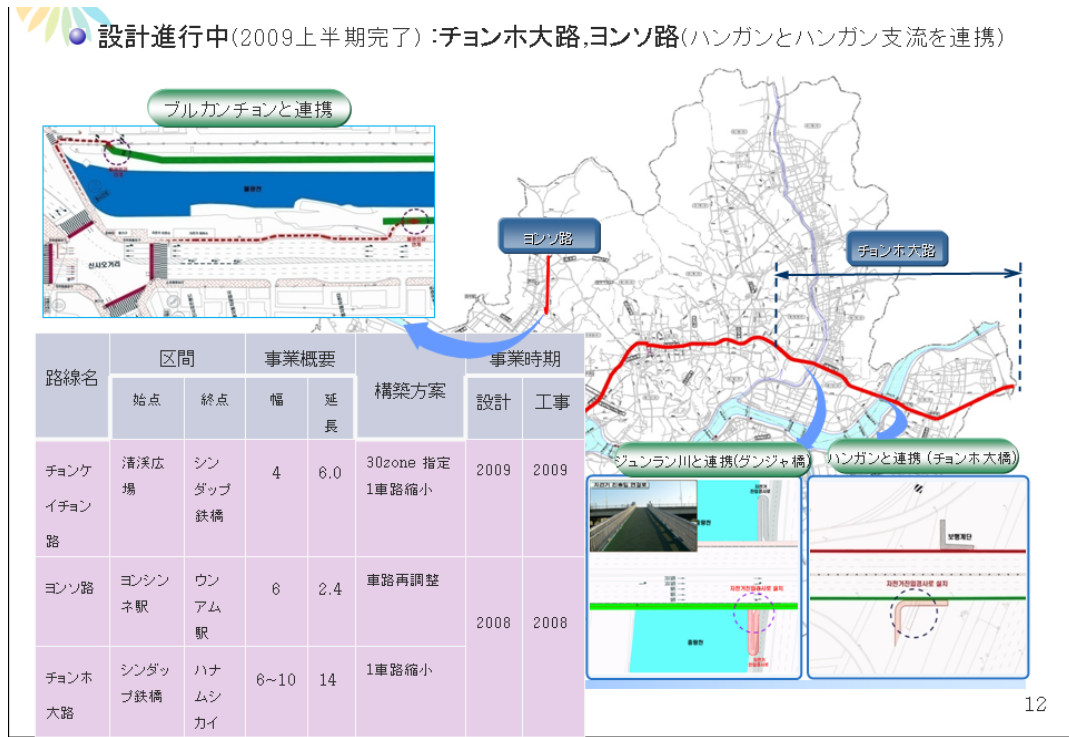
<自転車専用道路網の構築計画>

- 幹線道路に設置する自転車専用道路はできるだけ 1 個の車路を縮小(Road-Diet 方式)して設置するが, 自動車と歩行者を完全に分離させて, 車路と同じ平面を維持させるように自転車利用者がより安全で便利に自転車を利用が可能になるように設置する計画.



<自転車専用道路の設置計画図面>

- 今年から17個の幹線軸の中にチョンホ大路とヨソ路 16.4km を出勤・退勤の示範道路として建設する計画して、設計段階である。ソウル地方警察省の交通規制審議が完了する次第で工事に着手する予定。



<2006年 設置計画 路線>

- 清溪川路の自転車道路は09年清溪川路の一部区間1車路を縮小，自転車専用道路で作る計画して，小規模の商店街が密集地域は既存の車路の物理的に変形させずに自動車と一緒に利用できるように通行速度を低減する‘Zone30’を指定。運営など区間別(小規模の商店街が密集地域)および時間代別(出勤・退勤の時間帯)で自転車専用車路を指定。□ 運営する方案も一緒に検討する計画。

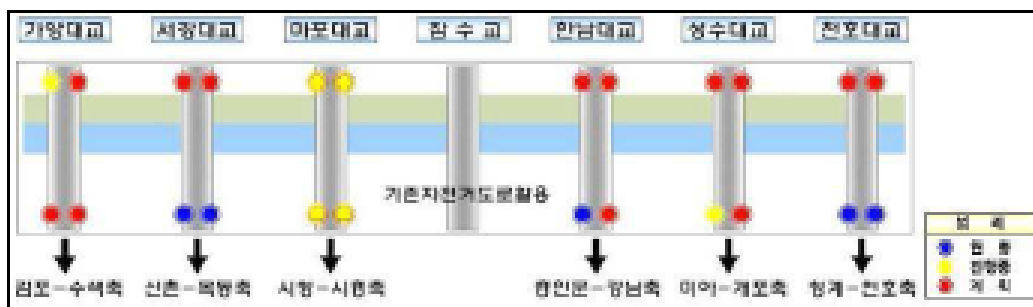
2. 都心⇄ハンガン 自転車専用道路で移動 OK!—自転車のエレベーター19箇所設置

- 都心地の自転車専用道路の幹線軸とハンガンおよびハンガン支流の自転車専用道路を相互連結する自転車道路のネットワークが構築することで，本格的に自転車の交通時代が始まることを期待する。
- ソウル市は去年11月5日に発表した計画により，自転車道路と散策路を分離事業を‘09年に完了を目標で推進中である，工事が完了することで，市民たちがより便利と安全に自転車を利用が可能になることを期待する。

区分	ハンガン			ハンガン支流	
	ハンガン南北端	クリ市 連結	ハمام市 連結	ジュンリヤン, アンヤン, タンチョン	ホンジェ, ヤンジヨ, ブルクエン
概要	幅 4m, 延長 60.9km	幅 4m, 延長 1.6km	幅 4m, 延長 4.2km	幅 4m, 延長 59km	幅 4m, 延長 33km
計画	2009 年末	2009 年上半期	2009 年末	2009 年上半期	川の整備計画と連結して推進

ハンガンの自転車専用道路は連続的に高速走行ができるように自転車専用道路の幅を4m以上確保する予定である。

- ハンガンの自転車専用道路が都心の自転車専用道路が幹線軸と連結ができるようにハンガン橋梁に自転車エレベーターを2012年まで19箇所を設置、市の全域が自転車で行けるように計画。
- その中、今年にはマポ大橋の南北端に自転車連結路を4箇所と自転車道路を工事中で、ソンス大橋、ガヤン大橋は設計中。



<自転車連結路(エレベーター)設置計画>

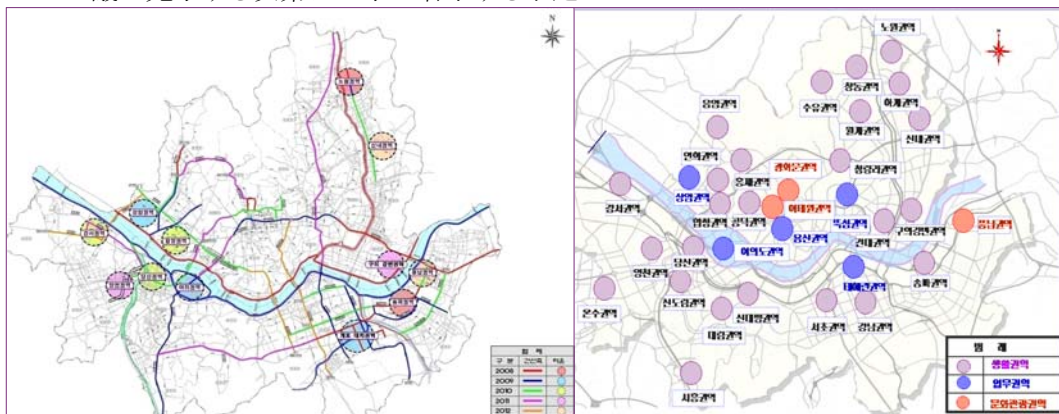
3. 交通は複雑、見ところは多い重要都心の地域も自転車で行ける。

- ソウル市は歴史と文化、観光(清溪川, 古宮, 大学路, 光化門など)と業務地域などが密集する都心地域にも自転車専用道路の循環網 7.0km を構築して公共貸与自転車を導入も積極的に検討する計画
- 今年には景福宮の外郭路線を設計, 09年に工事を着手
- 2010年には大学路とユルコク路, 昌慶宮路まで拡大して都心を自転車で循環ができる自転車専用道路を構築する。



4. 二輪の天国，自転車親和とタウン 2012 年まで 12 箇所を造成

- 自転車利用の潜在需要が多く，自転車の通行が集中的で発生するある地域に近距離の通行手段として自転車をより便利と安全に利用ができるように 2012 年まで自転車親和とタウン 12 箇所を造成する計画である。
- 親和地域内の幹線道路も自動車と歩行者が完全に分離されて車道上に自転車専用道路を設置して，専用道路には自転車の信号など，交通安全標示および自転車横断歩道も設置する。異面道路には 30Zone など交通低温化を通じて自動車と共存ができるように計画。
- さらに，2020 年まで自転車親和とタウン 21 箇所を追加で設置，総 33 箇所の自転車親和とタウンを造成する計画。
- 今年には，ノウェンとソンパ地域を対象して設計中にあるソウル地方警察省の交通規制審議が完了する次第に工事が着手する予定。



<2012 自転車親和とタウンの設置計画 : 12 箇所><2020 自転車親和とタウンの設置計画 : 33 箇所>

- 自転車親和タウンの造成と平行して公共貸与の自転車システムは現在に推進しているガンナム区等自治区を拠点別に推進するが、相互互換が可能にし、交通基準を提示して自治区間を共同協力体系に構築する予定。
- ソウル市では、09年公共貸与自転車の示範地域で業務密集地域になるヨイド地域とサンアム DMC 地域 2 箇所自転車専用道路を構築と平行、自転車駅 40 箇所と公共貸与自転車 400 代を設置する予定。
- ガンナム、ソウル市の示範事業の結果によりハンガンおよびソウル市の全域に自転車親和タウンの造成地域を年ごとに拡大して実行する計画。

5. 地下鉄路にも手軽に乗り換えられる。一駐輪場の建物を建設

- 自転車保管需要が 300 台以上の地下鉄駅 16 箇所には建物式の駐輪場を建設して、500 台以上の地下鉄駅 4 箇所には自転車保管と貸与、修理が可能な建物(自転車総合サービスセンター)を年次的に建設。それと一緒に地下鉄駅の周辺 100 台以上の自転車保管施設には CCTV も一緒に設置して自転車の盗難と紛失がないようにする予定。
- 大衆交通と円滑な乗換システムを構築ができるように駐輪施設が不足な地下鉄駅舎 76 箇所に 2,268 台の保管台を今年中に追加して保管台を拡充している。
- 300 台以上の自転車専用の建物にはロッカー施設とシャワー室などの自転車の便宜施設も一緒に確報して自転車利用の便宜をサポートする予定。

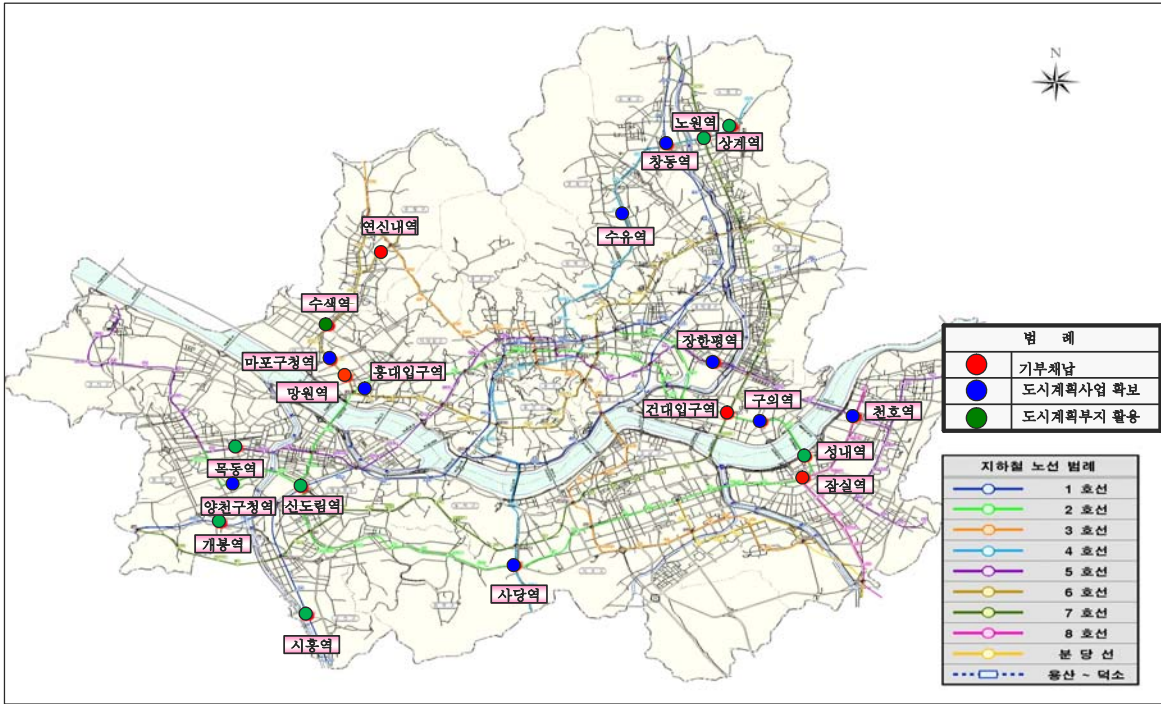


<シュウユウ駅の駐輪場の建物図>



<外国の駐輪場設置事例>

- 300 台以上の駐輪施設を確報方案には既存の都市計画施設の敷地を活用するか、ニュータウン事業、地区単位計画など民間が開発時に寄付形式をするなど予算を節減して、他の地域に対しては市財政を直接に導入(都市計画事業)しても、年次的に建設する予定。現在にスウ駅とシンドリム駅に自転車専用の駐輪施設を設置ために補償協議および設計中である。



<駐輪施設 300 台以上設置できる支点および確報計画>

- さらに, 多重集合建物(大型ショッピング施設, 観覧場など)など民間事業が乗用車の駐車面積を減らして, 駐輪施設を設置して所属従業員以外にも外部利用者にも利用できるよにする民間企業には, 交通誘発負担金の軽減などインセンティブを与える予定.
- 自転車の盗難と紛失を予防し, 地下鉄と円滑な乗換するためにソンネ駅とソク케이駅に密閉型の自転車保管施設を今年末まで示範で設置する. 地下鉄内部に設置するソク케이駅には自転車スロープも一緒に設置する.



(地下鉄の中 駐輪場(ソク케이駅))



(地下鉄の駅舎 駐輪場(ソンネ駅))

6. 自転車の安全と利用の活性化のために制度の改善も平行する.

- 今まで, 自転車の利用に不備した自転車の利用に関連する法令と制度の整備実行を発掘して去年から持続的に中央政府と協議している. さらに, 自転車の利用者の安全と自転車の利用環境を改善するために道路交通法など関係する法令に対しても追加の改正を建議する.

7. 自転車の交通を体系的で推進するために行政機能も強化した。

- ソウル市は今回に計画する 21 世紀型“自転車 マスタープラン”を総合的・体系的で推進するために9月 2 日に広域自治団体が最初に課単位(4 級 番長, 2 個チーム, 10 人 担当者)で自転車専担部署の自転車交通推進班を新設した。
- 現在の任時組織で運営中“自転車交通推進班”は自転車交通の体系的に管理と運営をために今後, 組織の改編時に正規組織で拡大・改編をする予定。
- また, 自転車利用の活性化を円滑に推進するため, 自治区の積極的に参与と協調が最も重要で自治区単位でも関連部署内に自転車専担チームを施設することを推薦する予定。
- 自転車の重心に交通体系の構築するため政策方向に対し諮問を求めて自転車の利用についてソウル市民の共感を形成するなど世論を拡散するために持続に可能な交通・環境市民委員会, 環境エナジー分課に民・官・専門家が参与する自転車政策を専担する委員会を構成してソウル市の自転車政策が市民の参加を通じて実質的に成果を得ることを期待する。

別添 2 自転車専用道路を設置の細部路線計画

□ 細部路線:17 個 路線 200km

区分	幹線軸名	延長	通過幹線道路	地区区分	備考
2008~ 2009	清溪 ⇄ チョンホ軸	20.0	清溪川路-チョンホ大路-(チョンホ大橋)-チョンホ大路	都心進入	
	ドコク ⇄ サンソン	6.2	ドコク路-サンソン路-ゲボ路	東西連結	
2009~ 2010	テヘラン ⇄ チョンホ軸	12.9	テヘラン路-オリンピック大路-イレイソングル-ブンナップ路	東西連結	
	市庁 ⇄ シフン軸	17.1	ソムン路-マボ路(大橋)-ヨイ大路-シングル路-シフン大路	都心進入	
	ヨンドン ⇄ ドサン軸	15.6	ドサン大路-ヨンドン大路-南部循環路-バムゴケギル	南北連結	
	ベクジョゴブン軸	5.2	ベクジョゴブン路(総合運動場-オリンピック公園)	東西連結	
2010~ 2011	スセク ⇄ ヨンサン軸	9.2	ギョイ線 廃線敷地	東西連結	
	タンチョン ⇄ ドチョン軸	6.1	南部循環路-ドチョン路	東西連結	
	市庁 ⇄ モクドン軸	10.4	セムンアングル-チュンジョン路-シンチョン路, ヨイド大路-ゼムルポギル	都心進入	
	ドウイル路軸	9.0	ドウイル路(スラクサングル-マンウ路)	南北連結	
2011~ 2012	ドボン ⇄ ケボ軸	27.0	ドボン路-ジョンアム路-アンアム路-ウンボンギル-(センス大橋)-オンジュ路	南北連結	
	マコク ⇄ モクドン軸	5.0	ガンス路-ヤンチョンギル-〈モクドン中心軸〉	東西連結	
	ウンアム ⇄ 世宗路軸	15.7	ジャハムンギル-セゲムジョウギツ-シンフン路(ヨソ路)	都心進入	
2012 以降	南部循環軸	14.0	南部循環路(シフン-bangbang交差点)	東西連結	
	清溪 ⇄ ヤンザイ	12.7	フンインムン路-ジャンチュンダンギル-ハンナン路-(ハンナム大橋)-ガンナム大路	南北連結	
	キムポ ⇄ スセク軸	7.7	空港路-ファコク路-(ガヤン大橋)-グリオン路	東西連結	
	バンポ ⇄ ヨンサン軸	10.8	イテウエン路-バンポ路-(バンポ大橋)-バンポ路	南北連結	

□ 都心循環の細部路線:7km(慶福宮外郭⇄ユルコク路⇄大学路⇄昌景宮路)

別添 3 自転車親和タウンの設置計画

- 設置計画:2020 年まで総 33 箇所(生活圏 25, 業務圏 5, 文化観光圏駅 3)
- 2012 年まで総 12 箇所

구분	지역명	자전거교통 수요유발시설	전용도로 (개소/노)	권역명	추진현황
2008	송파관역	아파트 35천세대, 지하철역 7개소, 판매시설 3개소, 교육시설 16개소(학원포함), 공공기관 2개소, 한강 및 반원 등	8	동남권	실개중
2009	노원관역	아파트 30천세대, 지하철역 4개소, 판매시설 3개소, 교육시설 25개소(학원포함), 공공기관 2개소, 중앙원 등	10	동북권	실개중
2009	상암관역	아파트 25천세대, 지하철역 3개소, 판매시설 4개소, 교육시설 2개소, 한강 및 월드컵경기장 등 공원 4개소	15	서북권	08년설계
2010	역삼(도곡)관역	아파트 3천세대, 지하철역 3개소, 판매시설 2개소, 교육시설 6개소, 업무시설 다수(은행, 보험, 방송사, 한강 및 여의도공원 등)	13	동남권	08년설계
2010	강남관역	아파트 30천세대, 지하철역 7개소, 판매시설 2개소, 교육시설 20개소(학원포함), 공공기관 1개소, 양재원 및 반원 등	12	동남권	
2010	강서관역	아파트 32천세대, 지하철 9호선 4역(7개소)예정, 판매시설 4개소, 교육시설 12개소(학원포함), 한강 등	12	서남권	
2011	당산관역	아파트 15천세대, 지하철역 9호선계통예정 등 3개역, 판매시설 2개소, 교육시설 6개소, 공공기관 3개소, 한강 및 중앙원 등	10	서남권	
2011	합정관역	아파트 6천세대, 지하철역 2개소, 판매시설 1개소, 교육시설 5개소, 공공기관 2개소, 한강 등	8	서북권	
2011	양천관역	아파트 35천세대, 지하철역 3개소, 판매시설 5개소, 교육시설 21개소(학원포함), 공공기관 5개소, 중앙원 등	6	서남권	
2012	구의2강변	아파트 15천세대, 지하철역 4개소, 판매시설 4개소, 교육시설 10개소, 공공기관 2개소, 한강 등	8	동북권	
2012	산재관역	아파트 10천세대, 지하철역 5개소, 판매시설 1개소, 교육시설 7개소, 공공기관 1개소, 중앙원	10	동북권	
2012 이후	중남관역	아파트 20천세대, 지하철역 3개소, 판매시설 2개소, 교육시설 6개소, 공공기관 2개소, 한강, 상원 등	10	동남권	

- 2012 年以降:총 33 箇所
 - 都心圏: 光化門圏, 이테우엔圏, 톱소움圏, 옌산圏
 - 東南圏: 建大圏, ソ초圏, 테헤란圏
 - 東北圏: 웨르케이圏, 찬돈圏, 스코圏, 하케이圏, 초논리안리圏
 - 西南圏: 시핀圏, 신데반圏, 데림圏, 신드리움圏, 오스圏
 - 西北圏: 웅안ム圏, 옌파圏, 혼조圏, 곤드ク圏

別添 4 自転車の駐輪施設の設置計画および確保方案

- 300 台以上 自転車の駐輪施設の設置計画
 - 500 台以上: 自転車総合サービスセンターの建設(保管+貸与+修理機能など)
 - 対象地域: 잠실역, 建大入口역, 시핀역, 신드리움역
 - 300 台以上: 自転車の駐輪専門の建物(CCTV, 便宜施設など設置)
 - 対象地域: 초논역, 찬돈역, 弘大入口역, 잠신헌관역, 산케이역, 노우엔역, 스텍역, 퀴역, 마포区役所, 옌신네역, 만우엔역, 모드론역, 쏌네역, 게본역, 사단역, 스코역

□ 自転車の駐輪施設の確報計画

- 都市計画施設の既存の敷地を活用: シンドリム, ゲボン駅(広場の敷地), チャンドン・サンケイ駅(地下鉄の下部空間), ウンアム駅(道路敷地), シフン駅(広場の敷地), スセク・モクドン駅(公園, 緑地空間), ソンネ・ソンジョン駅(道路敷地を活用)
- ニュータウン事業の実行時に敷地を確報: マンウエン駅(寄付), クイ・チョンホ駅(寄付)
- 地区単位計画の開発の敷地確報: ジャムシル駅(寄付), 建大入口・ヨンシンネ駅(寄付)
- 市財政(敷地買入)確報事業: スユ駅, ヤンチョン区役所駅, ジャンハンピョン駅, ノウエン駅, 弘大入口駅, チョンホ駅, クイ駅, サダン駅, マポ区役所駅

※ 駐輪施設の事業の実行が可能な場所は日程の計画に関わらず初期推進.